



読書交流会

平成28年10月23日(日)

翻訳家 金原先生に聞いてみよう!!



● 金原瑞人先生ってこんな方 ●

金原先生は、『パーシー・ジャクソンとオリンポスの神々』や『パーティミアス』など、たくさんの作品を翻訳している翻訳家です。
(娘さんは、芥川賞作家の金原ひとみさんです。)

● 読書交流会とは…? ●

金原先生の本を読んで、本の内容、好きな登場人物、場面、言葉など自分のおすすめポイントを紹介し、参加者同士で語り合い、金原先生にもお話をうかがいます。今回は7人の中学生のみなさんが集まってくれました。

● 参加者が紹介した本 ●

『ラベルのない缶詰をめぐる冒険』

アレックス・シアラー/著 竹書房

参加者「缶詰に指が入っている話があったりして、ちょっと怖い場面もあるけど、ユーモラス。」
先生「サスペンスチックな話だけど、ユーモアがあって楽しい。」



『タイムライダーズ』

アレックス・スカロウ/作 小学館

参加者「登場人物の中ではマディが好き。様々な時代・世代・人種の人たちがいるチームでリーダーをこなしているのがすごい。」
先生「この話は設定が面白い。こういうSFは好き。」



『わたしはマララ 教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女』

マララ・ユスフザイ/著 クリスティーナ・ラム/著 学研パブリッシング



参加者「教育の機会を奪われた子どもがかわいそう。学校に行けることの幸せを知った。」
先生「マララさんの強みは、英語で読み書きができたこと。インターネットを通じて英語で発信することで、応援してくれる人を増やすことができた。」

『パーシー・ジャクソンとオリンポスの神々』

リック・リオーダン/作 ほるぷ出版

参加者「登場人物が神さまというのが個性的。」
先生「この話は状況の作り方がとても面白い。」



『青空のむこう』

アレックス・シアラー/著 求竜堂

参加者「生きることのすばらしさ、毎日への感謝を感じた。」

先生「訳していて印象深かったのは、主人公が、死後に自分の教室へ行くシーン。みんな悲しんでいると思ったら、わりとみんな平然としていた。」



『さよならを待つふたりのために』

ジョン・グリーン/作 岩波書店

参加者「人の死について、色々考えさせられた。」

先生「映画版もよい。ぜひ、ほかの作品も! アメリカでいちばん人気のあるYA作家。」



『魔使いの弟子』

ジョゼフ・デレイニー/著 東京創元社

参加者「魔女を倒す場面が怖かった。」
先生「アメリカで映画化(日本未公開)して、DVDになっている。本も読んで映画も見るとおもしろい。」



『かかしと召し使い』

フィリップ・プルマン/作 理論社

参加者「かぶの頭のかかしと少年の会話がとてもおもしろい。」

先生「2人の関係が楽しい。同じ作者のほかの作品“ライラの冒険”シリーズも読んでみて。」



QUESTION

金原先生に質問してみました！！

本についてのお話のあとは、気になることを質問！
翻訳家のお仕事って…？みんな興味津々。



質問

翻訳家になってよかったことは、何ですか？

答え

日本人がまだ知らない面白い本を紹介できること。好きな原書を翻訳して、「おもしろかったよ」と言われると、うれしい。

質問

(『魔使いの弟子』より)「SPOOK」という単語をどうして「魔使い」と訳したのですか？

答え

日本語にない言葉なので、訳すときにとても困った。
魔法を使わないので「魔使い」にした。
こういうところは、翻訳家のウデの見せどころ！

質問

将来英語を使う仕事をしたいのですが、
中高生の頃はどんな勉強すればよいですか？

答え

読み書きが大事！今の学校での勉強は会話を中心だけど、
世界で何かを発信しようという時は、書けないといけない。
文法をきちんと覚えること！単語の丸暗記もおすすめ。



質問

これから訳してみたい本は
ありますか？

答え

ジョン・グリーンのような若い作家のYA小説を訳したり、
モームの『月と六ペンス』のような古い小説を
新しく訳したりしたい。日本の古典を訳すのも楽しい。

翻訳とYA文学の楽しいお話であつという間の1時間でした。
金原先生、これからも素敵な外国の本(や日本の古典)を訳して日本に紹介してください★

おまけクイズ！ (読書交流会の冒頭でクイズタイムがありました)

金原先生のエッセイ『**翻訳家じゃなくて〇〇〇〇になるはずだった**』(牧野出版)
「〇〇〇〇」には何が入る？
ヒント「芸能・スポーツ関係ではないよ！」 by 金原先生

参加したみんなの答え…「画家」「大工」「ギタリスト」
※当日、先生は革ジャンにTシャツという格好でした
さあ、正解は…？？？気になる人は調べてみてください☆
金原先生が翻訳家の道にすすんだ理由や翻訳家という職業についてわかる、楽しい本です。



以下の学校のみなさんが参加してくれました！五橋中学校、七郷小学校、八乙女中学校、仙台二華中学校